

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	フランス語II A F2107 Intermediate French A					担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 西山 教行				
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	水3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
[授業の概要・目的]											
<フランス文化> フランスの哲学者バルバラ・カッサンによる多言語論を読みます。カッサンはギリシア哲学を専門とする哲学者ですが、近年では翻訳論や言語論に活躍しています。 本書は、フランス人哲学者が10歳の子どもとその親に向けて語った講演録で、複数の言語を話すこと、学ぶことは何を意味するのかをやさしく解き明かしたものです。 外国語を学習する意義を考えるための思考の訓練になります。											
[到達目標]											
読解を通じて初級文法の知識を確実なものにすると共に、やさしい表現を使いながら深い思考を展開する文章を読解することがこの授業の目標です。											
[授業計画と内容]											
授業は受講者による発表を中心とします。毎回、2ページ強を進みます。また授業のはじめに復習を兼ねたディクテ（書き取り試験）を行います。 * なぜ母語とは違う言語を学ぶのか、話すのか。 * 母語とは何か * 言語とは誰かに、何かに属するものではない。 このようなテーマに関する講演です。											
[履修要件]											
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。											
[成績評価の方法・観点]											
評価は発表に加えて、試験などによる総合評価とします。詳しくは授業で説明します。											
[教科書]											
Barbara Cassin 『Plus d'une langue』（Bayard Culture）ISBN:978-2227483552（生協で購入をしてください。もし品切れなど、生協で入手できない場合は、コピーを使用します。）											
[授業外学修（予習・復習）等]											
受講者は毎回きちんと予習を行うこと。											
[その他（オフィスアワー等）]											
[主要授業科目（学部・学科名）]											